

江原道の溪谷から

天理市立福住中学校三年

堀内 花

私の父の故郷は、韓国の北の方にある江原道にあります。そこは自然が豊かで、山、川、溪谷がきれいな場所です。

私の家族はその中でも、父が昔から遊んでいた溪谷が大好きです。今でも父の故郷に行く时必须その溪谷に行っています。その溪谷がある山は秋になると紅葉によつて赤とオレンジ色に染まります。たくさん動物も棲んでいて、リスや小鳥も見ることができ、サンショウウオも棲んでいます。溪谷の水はとてもきれいで、見ているだけでも心が清らかになります。そんな溪谷の始まりは、山から流れる少しの水ですが、だんだん流れて江原道の溪谷の水になり、やがて都市、ソウルの大きな川に流れていきます。

私は、江原道とソウルの間をヤンピョンとい

ガンウオンドウ

うところに住んでいました。なので、江原道の水も、ソウルの水も知っています。江原道の水はとてもきれいですが、都市に行くほど汚れ、

ガンウオンドウ

江原道の水とソウルの水を比べるとソウルの水の方が汚いです。そこで、私は疑問を持ち、考えてみました。

まずはじめに、一人一人が水のことについて考えてみるのが大切だと思います。ソウ

ガンウオンドウ

ルは都市でもあり、自然豊かな江原道と比べ

ガンウオンドウ

ると人口は圧倒的に多いので、もちろん江原道の方が水がきれいなのもかもしれませんが、人口が多いからこそ、一人一人が水のことについて考えることが大切なのかな、と思いました。

そして二つ目に、一人一人が水問題の解決のために、自分にできる小さなことをすることが大切だと思います。私の場合は、お風呂

の残った水を有効活用したり、食器を洗う前に一度、汚れを拭き取ったりしています。限りのある水を無駄にしないように、みんな一人一人が水が無駄にしないための取り組みを少しずつやっていくことが大切だと思います。

皆さんは、水のことについてどう思いますか。水問題の解決のためにどのような取り組みをしていますか。これは、ソウルだけでなく、世界にとって大切なことだと思います。地球にある水は、九十九・五パーセントが海水で、塩分を含んでいない水は二・五パーセントだと言われています。なので、人が使える水はとても少なく、限りのある資源なのです。

韓国には「上流の水が清くてこそ下流の水が清い」ということわざがあります。上流の水は目上の人を指し、下流の水は目下の人を指します。目上の人が模範を示すからこそ目下の人が良い影響を受けるという意味です。それを、水問題と結びつけて考えてみると、「次の人々のために、水問題を解決できるよ

うにする」という意味になると思います。私達が今、水問題の解決についての活動に取り組むと、この後を生きていく人々がもつと良い生活ができるようになると思います。そして、「水を大切にする」という意味にもなると思います。水はもともときれいで透明な水だったから、そんな水を大切にし、大切に使うことが大事だと思います。

私は、大好きな溪谷をきっかけに水のことを考えることができました。これからは自分にできる取り組みを考え、今よりもつと水のことを大切にしていきたいと思いました。

このように、水問題を解決するには、たくさんの人々が水のことについて考え、一人一人が自分にできる小さな取り組みから取り組んでいくことが大切だと思います。きれいな水を次の人々に伝え、水を大切にする気持ちを忘れないでほしいです。